

# 安全報告書(2009年)

書写山ロープウェイ

(神姫バス株式会社)

## 1 利用者の皆様へ

平素より書写山ロープウェイをご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

書写山ロープウェイは、西国巡礼第27番札所書写山円教寺の玄関口として、これまで多くのお客様にご利用頂きました。山頂までの約4分間の空中散歩は、春の新緑、夏の納涼、秋の紅葉、冬の雪化粧と四季折々の書写山ならではの景色と世界遺産姫路城を眼下に見下ろす爽快な眺望で多くのお客様に癒しと感動を与えてきました。これまで50年もの長きにわたり営業運行できましたのも、皆様に愛され親しまれた賜ものであり、また、お客様の安全を第一の方針に揚げ、取り組んできた結果であると考えます。

平成21年度、弊社は、姫路市より指定管理者制度により事業を受け継ぎました。皆様と共に築き上げてきた書写山ロープウェイの歴史をよりいっそう良いものに向かい進んでいく為、輸送の安全を確保し、法令を順守することはもちろん安全な事業の運営、管理体制の充実及び安全運行に全力をあげて取り組んでまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら把握するとともに、広く皆様にご理解いただくために公表するものです。輸送の安全に役立てたく、皆様からの積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

神姫バス株式会社  
取締役社長 上杉 雅彦

## 2 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

書写山ロープウェイは、「安全基本方針」を次のように揚げ、管理者以下従業員に周知・徹底を図っております。

一致協力して輸送の安全の確保に努めること。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程(本規程を含む。以下「法令等」という。)をよく理解するとともにこれを順守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。

常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。

職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。

事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 平成 20 年度の安全目標

「抜けのない点検と確実な整備強化と安全運行を確保し、思い出に残る接客をする」を安全目標に掲げ、安全と信頼の向上に努めます。

### 3 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）

平成 20 年度、索道運転事故（索道人身傷害事故）は発生しておりません。

(2) 災害（地震・暴風雨・豪雪・雷等）

雷雨の接近にともない安全確保のため 4 回一時運休しました。

7 月 28 日（土）落雷のため

・午後 1 時 45 分から午後 2 時 42 分まで運休

8 月 16 日（土）雷雨のため

・午後 2 時 30 分～3 時 05 分まで運休

8 月 29 日（土）雷雨のため

・午前 11 時 45 の定時便のみ運転見合わせ

9 月 7 日（日）激しい雷雨のため

・午後 2 時 45 分の定時便のみ運転見合わせ

(3) インシデント（事故の兆候）

平成 20 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

なお、棧橋故障による運転休止が 2 件発生しました。その内容は以下の通りです。

4 月 15 日（日）山上棧橋リミットスイッチ接触不良のため

・午前 11 時 30 分～午後 12 時 40 分まで一時運休

応急修理を実施し安全運行の確保を確認後運転再開し、安全索道(株)（業務提携業者）技術員に点検・修理を要請、午後 7 時 00 分点検、修理完了しました。

12 月 27 日（土）山上棧橋リミットスイッチ接触不良のため

・午後 1 時 45 分～午後 3 時 09 分まで一時運休

応急修理を実施し安全運行の確保を確認後運転再開し、安全索道(株)（業務提携業者）技術員に点検・修理を要請、午後 5 時 30 分点検、修理完了しました。

上記 2 件は、いずれも棧橋リミットスイッチ接触不良で出発前の故障による運転休止で搬器は定位置格納状態でした。

なお、翌日には完全復旧し平常運行を行いました。

(4) 行政指導等

平成 20 年度、監督官庁等からの行政指導はありません。

#### 4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

「事故防止懇談会」を実施（毎月 1 回以上）し、「安全に関する心構え」、「手順書の確認」、「緊急時のロープウェイの運転操作」等の教育及び指導を実施しました。

(2) 緊急救助訓練の実施

・平成 20 年度は、応急下降器訓練を 5 回実施しました。内 3 回は、姫路市、姫路西消防署との合同救助訓練でした。

(3) 安全のための投資と支出

お客様に安心してご利用いただくために、安全索道(株)(業務提携業者)による「定期検査」を実施しました。

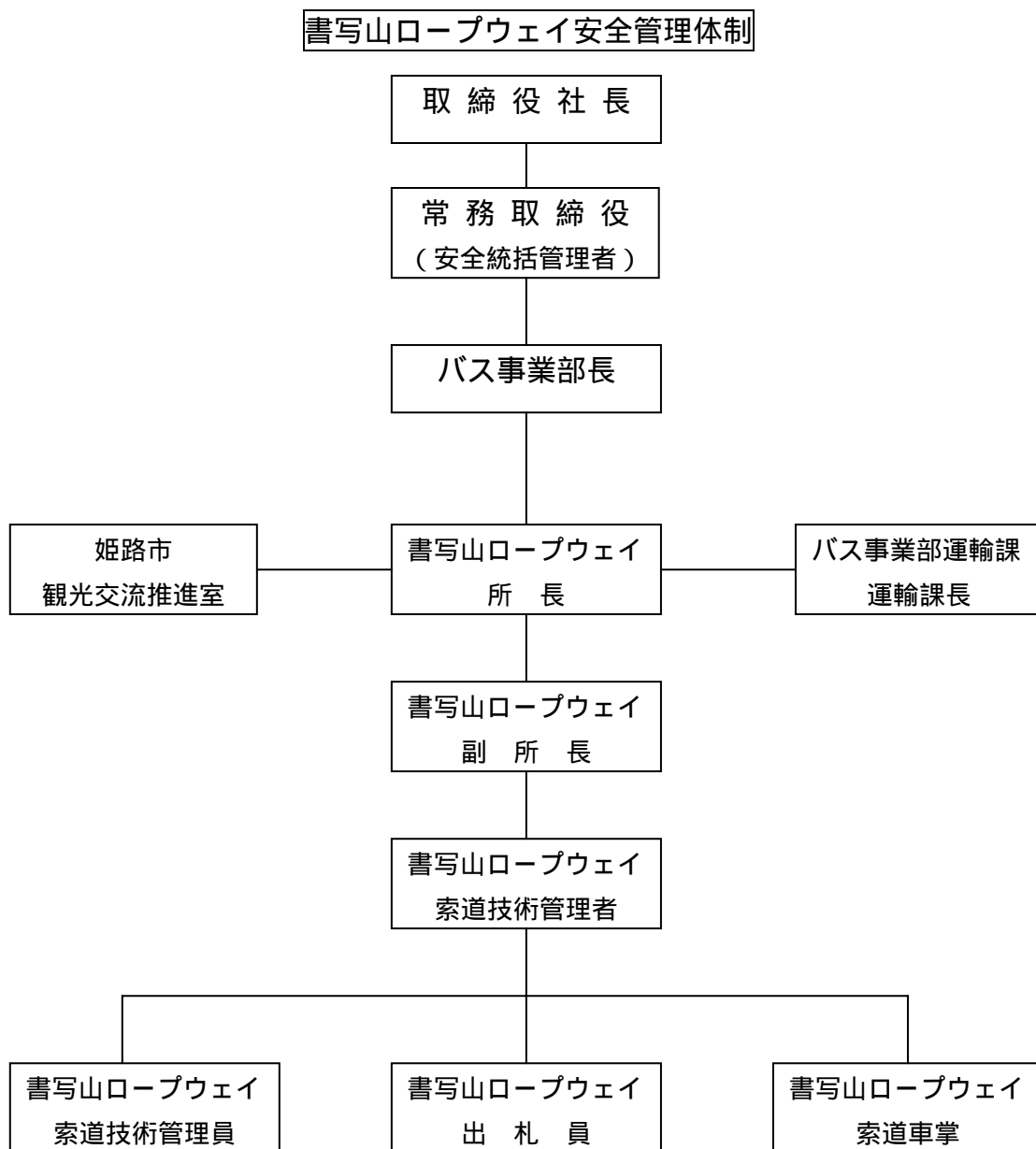
油圧関係装置のオーバーホール工事を実施しました。

山麓、山上栈橋のオーバーホール工事を実施しました。

工事期間 12 月 19 日(金)～12 月 26 日(金)まで合計 8 日間  
平成 21 年度は、搬器ハンガークラックの補修並びに索条切詰め工事を予定しています。

## 5 安全管理体制

書写山ロープウェイでは、索道事業における安全確保に関する管理体制を下記のとおり構築し、各々の責任者の役割及び権限を明確にしております。



## 6 書写山ロープウェイへのご意見・ご要望

安全報告書へのご意見・ご要望は下記までお願いします。

書写山ロープウェイ

〒671 - 2201

兵庫県姫路市書写 1199 番地の2

TEL : 079 - 266 - 2006

FAX : 079 - 266 - 2054

ホームページ : <http://www.mt-shosha.info>